

第9期 決算公告

東京都渋谷区代々木二丁目1番1号
 シャーメゾン少額短期保険株式会社
 代表取締役社長 春木 卓伸

2022年度（2023年3月31日現在）貸借対照表

（単位：千円）

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金及び預貯金	1,916,556	保険契約準備金	797,354
現金	—	支払備金	3,858
預貯金	1,916,556	責任準備金	793,496
有価証券	—	代理店借	134,254
国債	—	共同保険借	49,332
地方債	—	再保険借	134,460
その他の証券	—	短期社債	—
有形固定資産	278	社債	—
建物	136	新株予約権付社債	—
建物仮勘定	—	その他負債	279,504
その他の有形固定資産	141	借入金	—
無形固定資産	74,055	未払法人税等	89,883
ソフトウェア	74,055	未払金	633
のれん	—	未払費用	37,893
リース資産	—	前受収益	—
その他の無形固定資産	—	預り金	2,974
代理店貸	—	リース債務	—
共同保険貸	—	資産除去債務	—
再保険貸	59,791	仮受金	137,902
その他資産	284,903	その他の負債	10,218
未収金	257,117	退職給付引当金	2,223
未収保険料	—	役員賞与引当金	3,500
前払費用	6,483	賞与引当金	16,165
未収収益	—	価格変動準備金	—
仮払金	—	繰延税金負債	—
預託金	—	負債の部 合計	1,416,795
その他の資産	21,303	(純資産の部)	
繰延税金資産	202,400	資本金	290,000
供託金	16,000	新株式申込証拠金	—
貸倒引当金	—	資本剰余金	420,653
		資本準備金	90,000

		その他資本剰余金	330,653
		利益剰余金	426,536
		利益準備金	—
		その他利益剰余金	426,536
		別途積立金	215,500
		繰越利益剰余金	6
		当期純利益	211,029
		自己株式	—
		自己株式申込証拠金	—
		株主資本合計	1,137,190
		その他有価証券評価差額金	—
		繰延ヘッジ損益	—
		土地再評価差額金	—
		評価・換算差額等合計	—
		株式引受権	—
		新株予約権	—
		純資産の部 合計	1,137,190
資産の部合計	2,553,986	負債及び純資産の部合計	2,553,986

- (注) 1. 有形固定資産の減価償却は、建物（建物附属設備を除く）並びに 2016 年 4 月 1 日以降に取得した建物附属設備及び構築物については法人税法の規定に基づく定額法、その他有形固定資産については法人税法の規定に基づく定率法で行っております。
2. 無形固定資産の減価償却は、法人税法の規定に基づく定額法で行っております。
3. 賞与引当金は従業員賞与に充てるため、支給見込額のうち当会計年度に負担すべき額を基準に計上しております。
4. 役員賞与引当金は役員賞与に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。
5. 退職給付引当金は従業員の退職時に支給するため、期末現在の要支給額に基づき計上しております。
6. 消費税等の会計処理は税抜方式によっております。なお、資産に係る控除対象外消費税等は前払費用に計上し、5 年間で均等償却を行っております。その他の控除対象外消費税等は発生会計年度の期間費用としています。
7. 有形固定資産の減価償却累計額は 6,166 千円です。
8. 責任準備金は保険業法施行規則第 211 条の 46 の規定に基づく準備金であり、同第 1 項第 1 号イに規定する未経過保険料の金額は、純保険料等に基づく算出方法により計算しております。
9. 金融商品に関する注記
- (1) 金融商品の状況に関する事項
 少額短期保険業者の資産運用は、預貯金（外貨建てを除く）・国債・地方債に限定されているうえ、当社では安全性・流動性確保のため預貯金による運用を基本方針としております。
- (2) 金融商品の時価等に関する事項
 2023 年 3 月 31 日（当期の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	貸借対照表 計上額 (*1)	時価 (*1)	差額
(1) 現金及び預貯金	1,916,556	1,916,556	—
(2) 未収金	257,117	257,117	—
(3) 代理店借	(134,254)	(134,254)	—
(4) 再保険借	(134,460)	(134,460)	—
(5) 再保険貸	59,791	59,791	—
(6) 共同保険借	(49,332)	(49,332)	—

(*) 負債に計上されているものについては、() で示しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法

当社が保有する金融商品のうち重要性があるものは上記表のとおりであります。これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価格にほぼ等しいことから、当該帳簿価格によっております。

10. 当期末における支払備金および責任準備金の内訳は次のとおりであります。

(支払備金)

支払備金 (出再支払備金控除前)	75,511 千円
同上にかかる出再支払備金	71,735 千円
差引 (イ)	3,775 千円
IBNR 備金 (出再 IBNR 備金控除前)	1,653 千円
同上にかかる出再 IBNR 備金	1,570 千円
差引 (ロ)	82 千円
計 (イ+ロ)	3,858 千円

(責任準備金)

普通責任準備金 (初年度収支残)	780,179 千円
異常危険準備金	13,316 千円
計	793,496 千円

11. 当期末における繰延税金資産の内訳は次のとおりであります。

(繰延税金資産)

普通責任準備金	197,836 千円
賞与引当金	4,526 千円
未収入金	2,763 千円
その他	1,064 千円
繰延税金資産合計	206,191 千円

(繰延税金負債)

営業未払金	2,119 千円
未払事業税等	1,671 千円
繰延税金負債合計	3,791 千円

繰延税金資産 (純額)

差引	202,400 千円
----	------------

12. 1株当たりの純資産額は149,630円30銭であります。算定上の基礎である純資産額は1,137,190千円であり、その全額が普通株式に係るものであります。また、普通株式の当期末発行済株式数は7,600株であります。
13. 金額は記載単位未満を切り捨てて表示しております。

2022年度 (2022年4月1日から
2023年3月31日まで) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額
経常収益	5,840,434
保険料等収入	5,815,966
保険料	3,119,820
再保険収入	2,696,146
回収再保険金	259,092
再保険手数料	2,109,668
再保険返戻金	327,384
その他再保険収入	—
責任準備金等戻入額	825
支払備金戻入額	825
責任準備金戻入額	—
資産運用収益	—
利息及び配当金等収入	—
その他運用収益	—
その他経常収益	23,642
経常費用	5,543,440
保険金等支払金	3,581,171
保険金等	272,728
解約返戻金等	344,614
契約者配当金	—
再保険料	2,963,829
責任準備金等繰入額	270,182
支払備金繰入額	—
責任準備金繰入額	270,182
資産運用費用	—
事業費	1,682,058
営業費及び一般管理費	1,495,373
税金	143,425
減価償却費	43,259
退職給付引当金繰入額	—
その他経常費用	10,027
経常利益	296,994
特別利益	—
特別損失	493
価格変動準備金繰入額	—
その他特別損失	493

契約者配当準備金繰入額	—
税引前当期純利益	296,500
法人税及び住民税	155,371
法人税等調整額	△69,900
法人税等合計	85,471
当期純利益	211,029

(注) 1. (1) 正味収入保険料は、138,761 千円であります。

(2) 正味支払保険金は、13,636 千円であります。

(3) 支払備金繰入額（△は支払備金戻入額）の内訳は次のとおりであります。

支払備金繰入額（出再支払備金控除前）	△18,169 千円
同上にかかる出再支払備金繰入額	△17,261 千円
差引（イ）	△908 千円
IBNR 備金繰入額（出再 IBNR 備金控除前）	1,653 千円
同上にかかる出再 IBNR 備金繰入額	1,570 千円
差引（ロ）	82 千円
計（イ＋ロ）	△825 千円

(4) 責任準備金繰入額（△は責任準備金戻入額）の内訳は次のとおりであります。

普通責任準備金繰入額	266,920 千円
異常危険準備金繰入額	3,262 千円
計	270,182 千円

2. 1 株当たりの当期純利益は 27,767 円 07 銭であります。算定上の基礎である当期純利益は 211,029 千円であり、その全額が普通株式に係るものであります。また、普通株式の期中平均株式数は 7,600 株であります。

なお、潜在株式がないため、潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益は算出しておりません。

3. 金額は記載単位未満を切り捨てて表示しております。